

東武鉄道杯少年野球大会規定

- 1 1チームの選手登録は原則として20名（5年生以下）とする。
- 2 組合せの若番号が1塁側ベンチ、後番号が3塁側ベンチとする。
- 3 監督、コーチは選手と同じユニホームを着用する。
- 4 各チームは試合開始時間1時間前に試合グラウンドに集合する。
- 5 審判は各チームより2名とする。
（審判服を着用し、若番号が球審・2塁、後番号が1・3塁）
- 6 投球練習は、初回7球、以降3球とする。
- 7 変化球は認めない。
- 8 試合は6回戦とし、1時間30分を超えて新たなイニングに入らない。
時間内に決着がつかない場合は、特別方式（サドンデス）にて決定する。

特別方式：無死満塁、継続打順を採用、その回数は2イニングまでとし、得点の多いチームが勝ちとする。勝敗が決しない場合は抽選とする。

- 9 試合は、4回以降10点、5回以降7点差をもってコールドゲームとする。
- 10 ボークは1回目は注意し、2回目以降はルール通りとする。
- 11 降雨、日没の場合は4回もしくは60分を経過した時に試合成立とし、その他は再試合とする。
- 12 初雁球場ではシートノックは行わない。
- 13 監督またはコーチがタイムを要求し、選手にアドバイスする時はダイヤモンド外で行う。
- 14 試合中ルール上微妙なプレイが生じた場合は、審判員が協議し判定する。
- 15 ヘルメットは1チーム7個以上同色のものを揃える。
- 16 捕手はプロテクター、レガースおよび捕手用ヘルメットを着用する。
- 17 ホームベースは一般用（大人用）とし、ベースは固定ベースとする。
- 18 上記以外は全日本軟式野球連盟規約『学童の部』を採用する。

※開、閉会式のプラカードは東武鉄道で用意する。